

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
人間文化学部発達教育学科	村松 和彦	2024年5月1日

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

- ・大学にて小学校図画工作, 図画工作科教育法, デザイン論
- ・短大ではオムニバスで保育実習指導Ⅱ
- ・他大学で図画工作概説Ⅰ, 図画工作科教育法

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

大学卒業後, 教員になることを前提として, 図画工作科の理念と子供の表現の理解, 全般にわたる基礎的な技法を身につけさせることを中心理念としている。またデザイン論は, デザインに関わる知識の伝達ではなく, 様々なデザインを経験させ, 「為すことによって学」ばせるようにしている。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

図画工作科とデザイン論, 題材ごとにその意味を理解させ実践することによって, 図画工作科では小学校現場での実施に役立つように, またデザイン論については, 日常生活の中でデザインについて関心を持ち, 物事の実践につながる力を身につけさせたい。

【成果】(その方法を行った結果, どうなったか, どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

前提として受講する学生の質はどうかを, まず問いたい。授業前には全員がスマホに首っ引き。何を見ているのかを聞くと, ほぼ SNS である。大学では全体として予習に〇〇分とか伝えているのだろうが, WebClass の予習できるように前日までに授業内容や課題を公開している。しかしほとんどは授業前に見ていない状況である。もちろん中には熱心過ぎるほどの取り組みを見せる学生もいなくはない。

【目標】(今後どうするか)

もちろんこれからも厳しく指導にあたる。しかし, この大学の定員割れの状況はどうか。特に発達教育学科。どうするかを問うと, だいたい「少子化の影響で仕方がない」との回答であるが, 栃木県内においても定員を満たしている大学はある。個々の教員にこうしたものを書かせる前に, 大学として定員未充足のこの状況を, どう打開していくのか具体的に示して欲しい。